

作成日：令和4年2月22日

令和3年度第8回 高松圏域自立支援協議会 相談支援事業所部会議事録

日付	令和4年2月17日
時間	9時30分～11時00分
開催会場	Zoom
参加機関等	高松市障がい福祉課、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、障害者相談支援センターりゅううん、地域活動支援センタークリマ、相談支援事業所ライブサポートセンター、支援センターこがも、あじの里地域生活支援センター、障がい者相談支援センターつなぐ、相談支援事業所おりがみ、特定非営利活動法人自立ケアシステム香川、社会福祉法人高松市社会福祉協議会障がい者相談支援センター、相談支援事業所 We、相談支援事業所ウェルネスサポート、支援センターgaryu、相談支援事業所れいんぼー、相談支援ナビット、障害者生活支援センターたかまつ、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計24名

議題1：研修 災害時、緊急時の対応を盛り込んだサービス等利用計画について

議事	<p>緊急時や災害時の対応をサービス等利用計画に反映している事例を共有。障がい種別ごとに事例報告をいただき、配慮した対応を学んだ。 内容を一部抜粋。</p> <p>○身体障がい 重度心身障がい、医療的ケアを含む</p> <ul style="list-style-type: none">・緊急時、災害時分けて欄を設け、具体的に「もし●●になった時どうするか」を一緒に考えている。・日常生活で不安がある方も多いため、必要以上に不安をあおらないよう注意している。・利用している事業所の災害時の対応を確認した。
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・今回取り組みを発表した相談支援専門員が担当している方の中で、要 援護者台帳登録が2割弱から9割弱に増えた。 ・電源確保が必要な方もいるので避難所の情報も調べている。 <p>○精神障がい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所は1か所だけでなく第2候補まで確認し、福祉避難所が開設さ れたら利用したいかも確認している。 ・知らない人たちと過ごす、慣れない場所で過ごすこと苦手で避難所に 行くことがプレッシャーになる方も多い。 ・予備の内服処方の確認や、本人が持ち出せるよう準備できているか確 認が必要。 ・身近に助けてくれる親族や知人がいるかも確認するようにしている。 <p>○知的障がい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や世帯状況の違う複数の事例を紹介。個別に必要な準備と練習に 取り組んでいる。 ・場面緘黙の方が避難時に言葉以外で伝えることが出来るよう、必要な ことを書いたものを常時カバンに入れることにした。 ・日中活動から帰る際に災害が発生した場合、徒歩での帰宅することが 考えられるのでルートを確認し、家族と共有した。 ・高松市障がい福祉課が発行した災害時対応の手引きは情報量が多いの で、必要なページだけコピーしてお渡ししている。 ・その他にも民生委員との顔合わせ、防災グッズの情報提供、災害時安 否確認用に支援している方のリストを作成している。 <p>○グループ協議</p> <p>約30分で情報共有等をおこない、グループで出た意見や体験談を共有 した。</p>
--	--

<p>議題2：計画相談の進捗状況確認</p>	
<p>議事</p>	<p>○新規受け入れ状況の確認</p>

議題 3：情報共有

議事

○観音寺市の取り組みについて 新聞記事の共有

○高次脳講演会 令和4年3月27日 Webのみ 当事者による講演